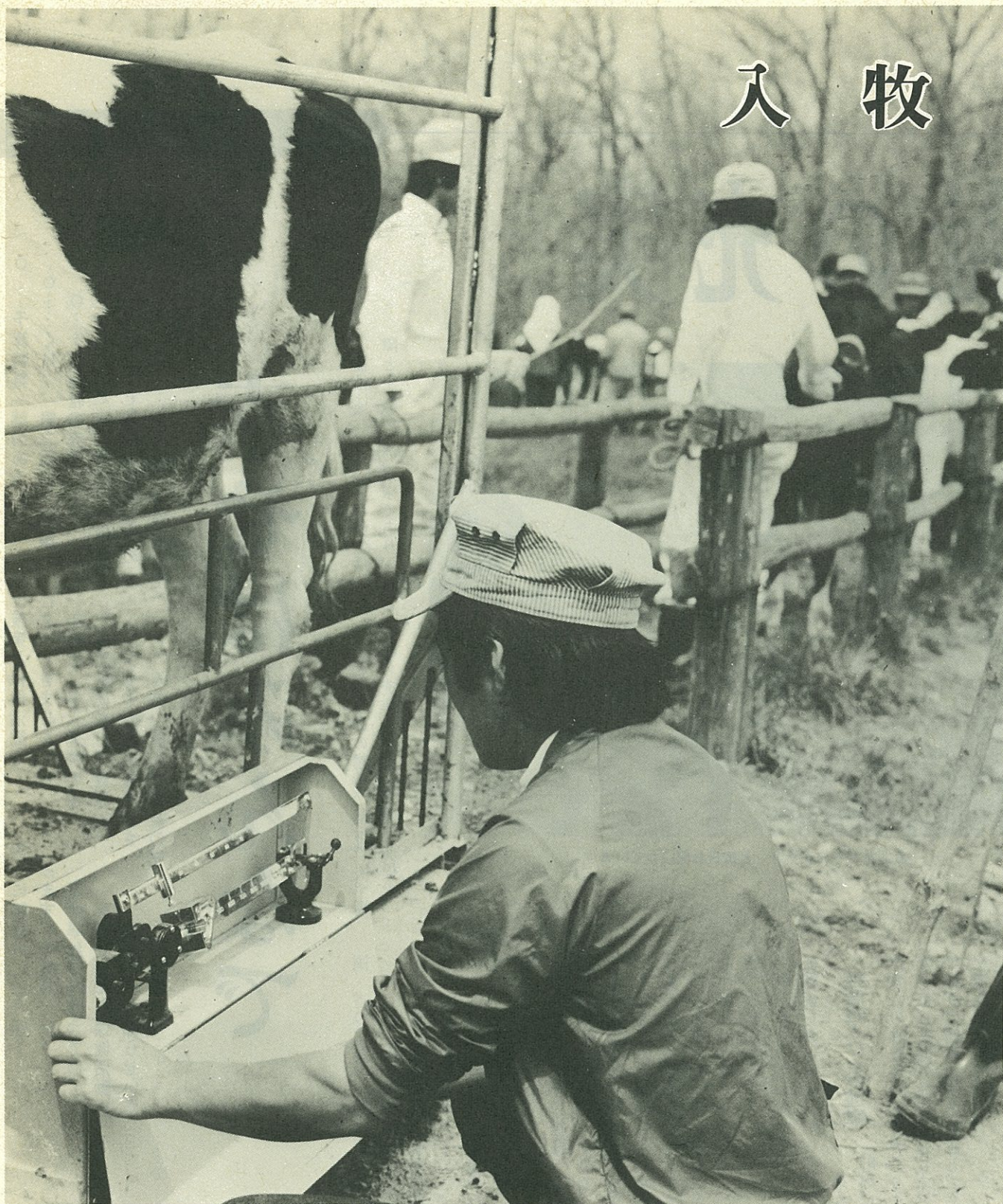




入 牧

まぐべ

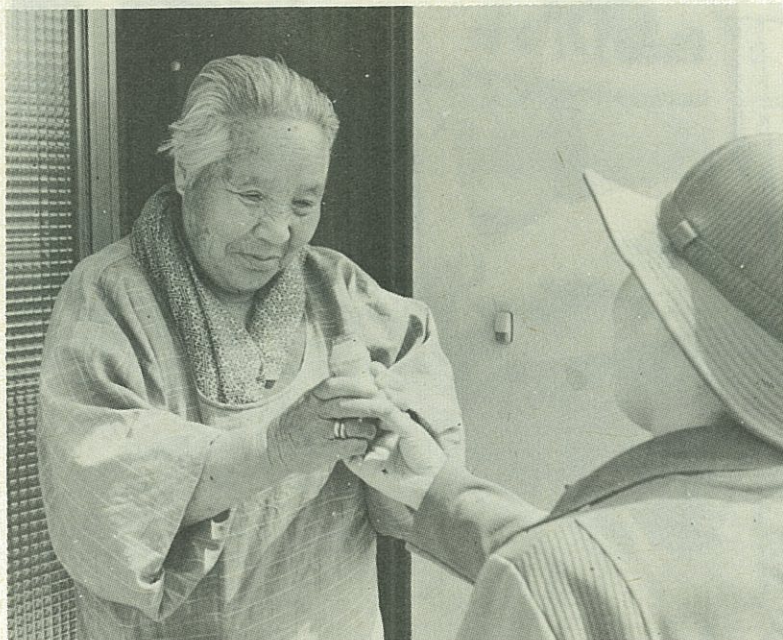
'80

341

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555) 4-2111
●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

6

福祉の充実



「おばあちゃん元気？」と毎日お伺いしています

幸せはみんなで

福祉は、一人ひとりの生活の保障と生きがいの追求であり、自障と生きがいの追求であり、自立と相互扶助の精神が基本です。福祉の充実、社会保障が前提で、

- ……予算特集「魅力ある町づくり」、第二回は「健康と福祉の充実」です。
- ……町では、皆さんが健康で幸福な生活を営めるように、いろいろな福祉施策と保健活動を行なってきました。今年度も、老人趣味の家、建設事業や町民健康センターの開設など皆さんの「健康と福祉の充
- ……「実」に積極的に取り組まします。今月号では、町が単独で行なっている福祉施策や保健活動を中心にお知らせいたします。

国・道の施策が中心になります。町では、国・道の施策で手の届かない点を補い町民に必要な独自の福祉行政を進めてきました。しかし、福祉は行政施策だけではどうしても限度があります。福祉は物心両面の充実が必要であり行政の側から「心」の援助となる限りがあるからです。そこで、皆さんの善意やボランティア活動とそれらを含めた社会福祉協議会の活動の広がりが必要となります。行政施策と皆さんのあたたかい心が結びついたとき「充実した福祉」と言えます。

町が行なっているいろいろな福祉施策をお知らせいたします。

独居老人ひと声運動

現在、町内に四十八人の独り暮らし老人がおりますが、毎日一回の訪問を通して、お年寄りの健康状態の確認と、心の交流を願うものです。

敬老お祝い金

毎年九月十五日の敬老の日、町内に住む七十五歳以上のお年寄りの皆さんに、敬老祝金をさしあげています。

幕別温泉ホテルの無料入浴券

ゆつくりお湯につかってますます元気な毎日をお過ごしくださいと、六十五歳以上の方にさしあげています。また、月二回四路線で温泉行きのバスを無料運行していますのでご利用ください。

ねたきり老人見舞金

町内に三か月以上上住んでいる六十歳以上のねたきりの方に月額三千元さしあげています。

肢体不自由児に通園費と訓練費を補助

肢体不自由児、言語障害児、自閉症などで施設に通園しているお子さんの通園費と訓練費の全額を補助します。手続きなどかわしいことは役場児童課へお確かめください。

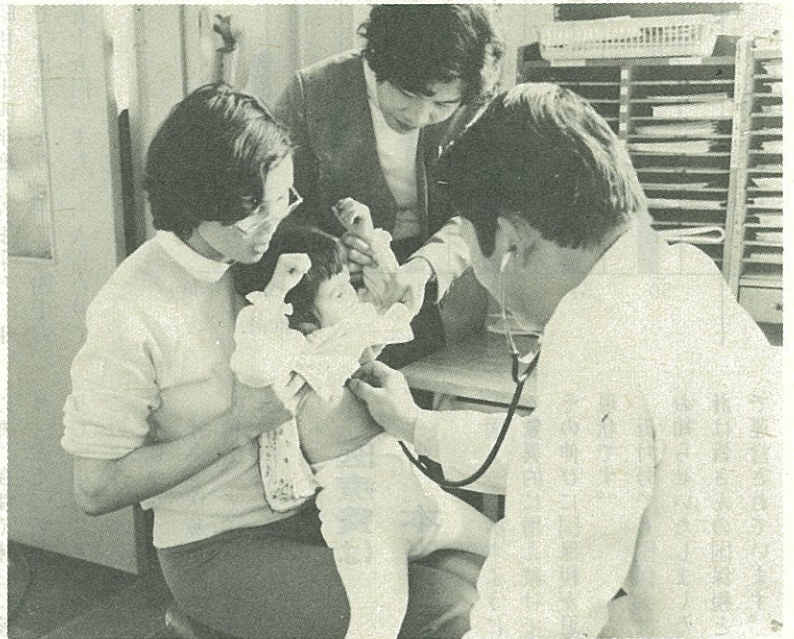
遺児へ援護金

生計中心者を失った家庭で、義務教育終了前のお子さんがいる場合に援護金を年額で三万六千円さしあげています。

重度心身障害児家庭見舞金

三か月以上町内に住んでいて、常に保護者などの介護を必要とする

健康と福



保健活動の充実に全力

町民健康センター

を開設

私たちが明るく幸せな毎日を過ごすには、心身ともに健康であることが大切です。町では、町内の開業医の皆さんのご協力をいただき町民の皆さんの健康管理と疾病予防に最善を尽くしています。

特に、今年度からは、年々利用

者が減っている母子健康センター

の助産部門を廃止し、総合的保健

思想の向上と健康の増進を図るた

め「町民健康センター」を開設し

ます。町民健康センターでは、疾

病や健康に関する予防や相談及び

る十八歳未満のお子さんがある家庭に月額三千五百円さしあげています

このほか、お年寄りの「生きがい」のひとつにと昭和五十一年にスタートした「しらかば大学」。

社会教育活動にも含まれますが一般教養から焼きものなどの実技コースまで幅広いプログラムで行なわれていますが、その活動をも

指導活動を中心に行なうほか、将来的には社会復帰に必要な訓練指導（リハビリ）も計画しています。

また、助産部門を廃止したことによる低所得世帯への影響を考慮町独自の援助制度として「入院助産費用援助制度」を新設しました。

（この制度については、五月十五日発行のおしらせをご覧ください）

このほかにも次のような町独自の援助制度を設け積極的に保健活動を進めています。

老人医療費無料化

国の施策
では、七十

歳以上の方で所得制限があります。町では、六十八歳まで年齢を引き下げ、国の施策で所得制限により援助を受けられない人も含め援助を行なっています。

乳幼児医療費無料化

国の道
の施策で

は、一歳未満児の入院・通院と二歳から六歳未満児の入院のみの医療費を援助していますが、町では三歳未満児まで年齢を引き上げ、

つと充実したものと「老人趣味の家」を建設します。

また、現在町内に二十人のねたきり老人がおりますが、町社会福祉協議会が事業主体となり、特別養護老人ホーム札内寮や町婦人ボランティアの皆さんのご協力をいただき「ねたきり老人入浴サービス」が実施されます。

通院医療費を援助しています。

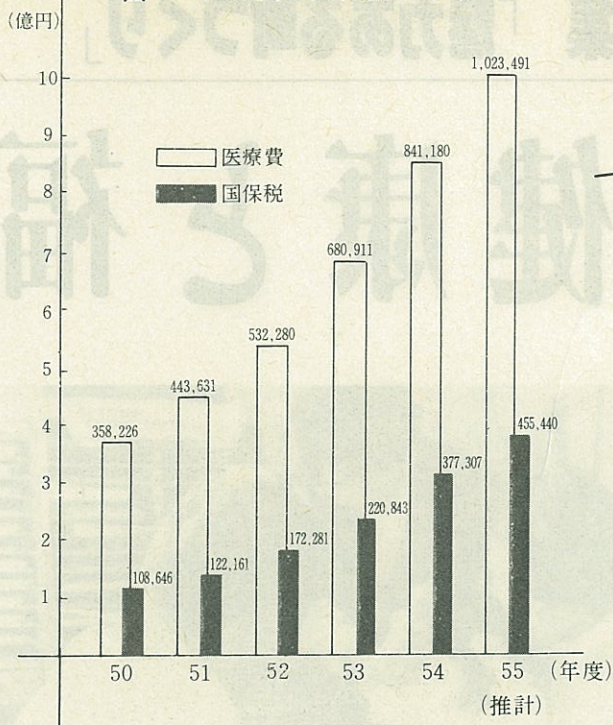
このほかにも、妊娠・出産を迎えたお母さんを対象に「母親学級」の開催、また、育児のための研修検診を中心とした「赤ちゃんクラブ」の運営援助、結核・胃ガン、成人病検診など町民の皆さんの健康管理を積極的に進めています。

◀町民健康センターに生まれ変わる母子健康センター▶



● みんなで考えよう 苦しい台所 国保会計 ⑦

図-1 医療費と国保税の推移



皆さんの健康と生活を守る大切な国民健康保険の役割と、年々増え続ける医療費に圧迫されてパンクしそうな国民健康保険会計の現状を五月号でお知らせいたしました。今月号では、皆さんとともに、①医療費のムダ使いをしてはいないか ②医療費はほんとうに三割だろうかについて考えてみたいと思います。

医療費のムダ使い をしていませんか

皆さんは、お医者さんにかかったときのくらいの医療費がかかっているかご存じですか。

昭和五十四年度をみますと一年間で一世帯当たり三十二万四千六百五十五円、また、一人当たりで

は九万二千三百三十六円にもなっています。

「病気になるた人がお医者にかかる」これは当たり前のことですが、皆さんは受診の仕方による医療費のムダ使いをしていませんか。例えば、一つの病気で病院を短期間に転々と渡り歩いたり、急病以外に夜間や休日に診療を求めたり、また、必要以上の薬を求めたりしていることはありませんか。このような小さなことも医療費のムダにつながっています。

医療費は

本当に三割？

図-1で示すように医療費は年々驚異的に増え続けていますが、その伸びに国保税が追い付けない現状です。

五月号でも国保会計の仕組みをお知らせしましたが、国保会計は皆さんの国保税と国の補助金で運営されています。

もし、医療費が増えれば、それだけ皆さんの国保税を皆さんに負担いただかなければなりません。気付かない小さな医療費のムダ使いが、全て国保税というかたちで皆さんの負担になってきます。

国保税を引き上げ

皆さんのご理解ご協力を

国保税が引き上げられます。

昭和五十四年度の国保会計決算見込みでは、五月号でもお知らせしましたように、一千万円の赤字が生じそうです。

このようなことから町では、昭和五十五年国保会計予算において「国保制度の使命を全うし適正な保険給付が行なえる額」を推計してきました。その結果、医療費は二・七％（受診増のみ）の増加が見込まれますが、これに対し国保税の伸びは期待できないため六千四百万円の不足が生じることになりました。

このため、町では平均一八・七％の国保税の引き上げを町国保運営協議会に諮問し、その答申を得て五月臨時町議会に提案可決されました。

このことによって標準世帯（夫

一人ひとりが自分の健康に心がけることが医療費を少なくし、また、国保税の負担も少なくなります。

医療費は決して病院等に支払う三割分だけではありません。

国民健康保険の役割と現状をご理解いただき皆さんのご協力をお願いいたします。

表-1 国保税改定内容

区分	現行	改定
所得割	100分の5.1	100分の6.0
資産割	100分の50	100分の61
均等割	6,500円	7,800円
平等割	10,000円	12,000円
賦課限度額	220,000円	240,000円

6月の農業

畑作

各作物のは種作業も終りこれから中耕・除草・防除と作物生育上最も大切な時期です。今月の作業の適

否が生育の良否につながり、秋の収穫に大きく影響しますので遅れないよう適期に進めましょう。

(一)中耕と除草

中耕と除草は一工程の作業でもできますが、中耕は土壌中の水分酸素の調節をはかり、根の伸長を促進するための作業で除草とは目的が異なります。

除草剤の使用技術の進歩によって初期の雑草の発生が少なくなつたために中耕をおろそかにする場合も見受けられます。乾性地と湿性地とでは中耕の条件が異なります。畑が乾燥する場合には浅く行なつて、土壌水分の蒸散作用を防ぎ、降水量の多い場合や湿性地で



は、地上部は正常でも根の呼吸作用が悪くなり、ついには茎葉が黄変して養分欠亡症状が現われますので、常に根の観察をしながら深く中耕を行ないます。

また、豆類の中耕は霜が降りる前日に深く行なうと被害が大きくなりますので天気予報に注意しながら作業を進めましょう。

■てん菜

移植てん菜は活着後、直播てん菜は発芽後から浅目に中耕し除々に深くして行きます。

後半の中耕は茎葉の展開する日中より直立する夕方の方が茎葉を傷める率が低くなります。また、根ぎわに土が寄ると根ぐされ病の被害が多くなりますので注意しましょう。

最終の中耕は、茎葉が畦間をふさぐ六月下旬までに終えるようにしてください。

■馬鈴しょ

中耕と同時に早期培土を行ないましょう。早期培土は萌芽始め時期から約五センチ位づつ土を寄せて行き、数回の後に着蕾始めまでに培土を終らせませす。(着蕾始めは男いやくなどの早生品種で六月二十日前後、メークインなどの中生品種で六月二十四、五日頃)

(二)病害虫防除

■馬鈴しょの疫病

疫病は着蕾期より発生し、低温湿潤時に急激に蔓延します。六月下旬になったら直ちに防除することが大切です。

■てん菜のテンサイモグリハナ

バエ、ヨトウガ ヨトウガ産卵が確認されたら直ちに防除します。

特にヨトウガは若齢幼虫の時に防除しないと防除効果が劣りますので早期完全防除につとめましょう。

■小麦のさび病、ウドンコ病

秋播小麦の作付面積が増加しておりますがさび病とウドンコ病の発生に注意して発生を認めた時は水和硫黄剤で早期防除を行います



冬作物の生育が益々旺盛になるに従って病害虫の被害や気象の変動による生育障害も目立ってきています。技術対策としては町の同報無線に注意し、技術上あるいは原因不明の病害虫が発生した時には関係機関の技術員に早急に連絡

し、対策を立てるようにしましょう。

畜産



デントコーンの種と施肥

デントコーンは吸肥性が強く、根系の繁茂がよいので、排水良好な肥沃地を選び、は種

は土壌水分の多い五月上旬から行ないますが今年は若干遅れがちとなつていきますので計画的に作業を進めるようにしましょう。

また、高温が続いた場合土壌が乾いてくると窒素肥料による濃度障害や肥料の多肥による肥料ヤケなどが心配されますので基肥と追肥による施用方法を計画的にするようにしましょう。

放牧の順致

飼料・環境の急変を避けることは家畜飼養管理技術の原則です。飼料に適應した微生物が胃内に棲息するには十日から二十日間ぐら必要です。日中数時間は牛舎周辺で乾草給与したり、予備の放牧

地を用意したりなどで一度に過食をしないように注意することが大切な事になります。

疲労と

農作業事故

春耕期、農作業事故には充分注意しましょう。事故発生の大きな原因は疲労のあらわれからと言われています。精神的不安定・あせり・イライラ・機械に対する知識の不足などがあげられます。特に疲労が蓄積されたままの運転では機械の操作ミスや居眠り運転にも直接に関連してきます。農作業には充分な体調で従事するよう心がけましょう。

■疲れをとるコツ

(1)睡眠と入浴 疲れをとる最上の方法は、十分な睡眠をとることと肉体的疲労には入浴です。ぬるい湯に入つて気分を静め、筋肉もゆるんでくつろぎの効果を与えてくれます。

(2)作業間休憩は回数を多く、同一作業の連続はストレスにもつながります。小休止を取り入れましょう。

(3)食事は三食平均にとりましょう。

①油を使った料理

②動物性食品の料理

③生野菜(特に緑黄色野菜を加えて)

依田公園(温泉前広場)に バーベキュー舎が完成

身近に自然と親しむことのできる公園造りをと、町では、依田公園(温泉前広場)の造成整備を進めています。その中のバーベキュー舎と噴水が完成し、五月十七日にオープンしました。温泉周辺は、水ばしろう、スズラン、野鳥の声と自然がそのまま残され、また、「ふるさと館」、「温水プール」もあり家族での憩いの場として最適です。



町長がテープカット



味も一流です



野外でもまた格別



近くには「ふるさと館」もあります



大きな噴水も完成

生きる喜びを創造するまち 幕別町

町づくり標語決まる

昭和五十四年度基本構想を、昭和五十五年

町民の皆さんの参加により進めています「幕別町新総合振興計画」は、昭和五十六年度からスタートします。

その、一環として計画のテーマとなる標語を皆さんから募集しましたところ六十九点の作品が寄せられました。

作品の選考は、町職員の代表で構成する策定委員会および町民の代表で構成する策定審議会(会長長尾玉市)で審査を進めておりました。

その結果、緑町に住む主婦本保洋子さんの作品で「生きる喜びを創造するまち幕別町」が選ばれました。

この標語は、町の長期町づくり計画や、将来の幕別町のあるべき姿を想定し、その目的を達成するため、町のキャッチフレーズとして使っていきます。

新総合振興計画は、すでに実施した住民意向調査のほか児童、生徒による作文募集、皆さんからお聞きしたいろいろな問題をもとに

和五十五年度には基本計画および実施計画の策定と二か年でまとめます。
町民の皆さん全員が参加して、「魅力ある幕別町」をつくりましょう。

有リン洗剤は

水質を悪化させます

合成洗剤に含まれているリンが、川や海の水質を悪化させることはよく知られていますが、国(環境庁)では、無リン洗剤の使用を広めています。私たちの生活環境を守るため無リン洗剤を使用しましょう。



交通安全は家庭から

女性ドライバー友の会が結成されました。

家庭から交通事故を追放しよう、女性だけのドライバーからなる「幕別町女性ドライバー友の会」(会長・永井ハナ)が四月十三日に誕生しました。



結成総会行なわれる



タイヤ交換も習いました

二十五日、町民会館に会員五十名が参加して開催されました。研修では、帯広地方交通安全協会事務局長加藤誠さんによる交通法規の講習と町交通安全運動推進委員の千葉良治さんから「車の安全点検」についてお話がありました。

また、町民会館前の路上において、タイヤ交換の実技指導も行なわれ、日頃、車の点検やタイヤの交換など男性に任せきりの皆さんから「大変勉強になりました。これから安全運転に心がけ、家庭から交通安全運動を広めたい」と話していました。

寄付者のお名前

町へ:

▽堀二三男さん(札内西町)からさかえ保育所に使つてほしいと五万円
▽萬恵正さん(帯広市)から社会福祉に使つてほしいと二百万円
▽藤平清志さん(本町)から社会福祉に使つてほしいと百万円
▽太平洋建設工業、太平洋レミコン(札内共栄町)から社会福祉に使つてほしいと五十万円
▽一宮昌三さん(本町)から消防

施設整備に使つてほしいと五十万円
▽逢坂又一さん(錦町)から消防施設整備に使つてほしいと百万円
▽斎藤利幸さん(浦幌町)から十勝愛育園へ遊具一式

社会福祉協議会へ:

▽幕別町ソシアルダンス愛好会から三万円
▽佐藤光子さん(依田)から十万円
▽上原昇さん(相川)から五万円
▽島田茂喜さん(緑町)から五万円
▽佐々木ハナさん(札内あかしや町)から三万円
▽匿名の方から千円

老人クラブへ:

▽長谷川俊三さん(札内新北町)から札内寿会へ三万円
▽高橋房枝さん(札内あかしや町)から札内鉄南老人クラブへ一万円
▽岡田延治さん(宝町)から宝町老人クラブへ三万円
▽水野正一さん(宝町)から宝町老人クラブへ二万円
▽佐藤光子さん(依田)から札内鉄南長寿会へ二万円
▽上原昇さん(相川)から相川北老人クラブへ三万円
▽島田茂喜さん(緑町)から幕別老人クラブへ三

○中寺常次郎さん

昭和二十一年十一月幕別町

農業委員会委員に当選、現在



中寺さん(右) 富谷さん(左)

○富谷政男さん

昭和三十五年四月から幕別町農業共済組合の理事、監事

こんにちは

長年、産業(農業)の振興に貢献されておられます中寺常次郎さん(札内泉町)と富谷政男さん(軍岡)のお2人が、この度知事より北海道産業貢献賞を受彰されました。

を歴任し現在は組合長として組織の育成と事業運営の向上に貢献、特に畑作物共済の基礎をつくり、それら事業が認められ農業共済事業功労を受彰されました。

は会長として農地の適正な利用に努め、また、地域の農業振興、農村環境整備など農業行政の発展に尽くされた功績により農業委員会功労を受彰されました。

交通安全へ:

▽川瀬卓雄さん(札内豊町)から札内交通安全実践会へ一万円



知りませんか？

この花のある場所



ので、昔の人はこれを食用にしました。今でもデンプンのことを「かたくり粉」と呼ぶのは、この花の名が語源のようです。

以前は幕別町内の山野でも、よく見られたそうですが、現在はかなり分布範囲がせまくなっているようです。

カタクリの花がある場所を知っている方、ふるさと館事務

所へお知らせください。電話でつこうです。
このほか、昔はどこにでもあった植物がいつの間にか、わたしたちの身近からなくなってきました。植物にまつわる思い出話をぜひお寄せください。幕別自然地図を作りたいと思います。

- 花の名：カタクリ（ユリ科）
- 花の咲く時期：四～五月
- 生育に適した場所：山野、山地の林のふち
- 草たけ：二十～三十センチ
- 花の色：うすいピンク

この花の根にはデンプンがある

● 第3回特別展

幕別の自然 春から夏

忙しい毎日の中で私たちは自然の動きに鈍感になつてはいませんか。

連載・第6回

幕別ものがたり

(2)地名のルーツ
(その5)

前回につづいて今月号は、町内の地区で、帯広・広尾間の道路に接した地区を紹介します。

(ツ) 古舞

中央にフルコマップ川が流れることから、フルマイと呼ぶようになる。途別と日新の南側に接し広尾街道に近いことから移住者が相ついだ。

(テ) 栄

戦勝にまい進し、栄えるの意味もとは古舞と同じ上途別であったものを分割したものである。

(ト) 明倫

明和部落に学校名を冠したの上モハチャ・上途別の一部を含めた地区である。開拓は他の地区にくらべて遅く、昭和の初めであった。

(ナ) 美川

中央に清い川が流れるの意味。明倫と糠内の南部に接し、猿別川に沿い、下イタイラと呼ばれていた。明治三十一年にはじめて二戸が入植した。

(小助川勝義・記)